

7部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 / 2020年3月卒業希望の方へ

1 卒業式（学位記・卒業証書授与式）について

集合日時・場所 3/19(木) 12:20 本学国見キャンパス3号館321教室

日程 11:30~12:20 受付

13:00~13:45 卒業式（学位記・卒業証書授与式）

14:30~15:30 卒業祝賀パーティー（予定）

会場 卒業式：福聚殿（本学国見キャンパス。通学課程と合同）

卒業祝賀パーティー：（本学国見キャンパスを予定）

※卒業者は是非ご参加ください。卒業祝賀パーティーは教職員の参加も予定しています。卒業式の正式なご案内は、3月上旬発送予定の「卒業確定通知」に同封します。

●卒業式・卒業祝賀パーティーに欠席される方 「学位記」を3/19以降にお送りします。詳細は「卒業確定通知」をご確認ください。

2 卒業までのスケジュールについて

『With』139号p.60~62に記載がありますので、ご確認ください。

1/15・2/5などの各卒業判定日以降、卒業要件を満たした方に対して「卒業要件達成のお知らせ」をお送りします。また、「卒業確定通知」は3月上旬にお送りします。

卒業試験受験者で卒業を延期する方は、『With』140号巻末の「卒業延期願」を2/20までに提出してください。

2 2020年9月卒業希望の方へ

本年9月卒業希望者は3月科目修了試験以降、「卒業試験」が受験可能です。希望者は今号以降の『With』3部をご覧ください。

卒業についての概要は『学習の手引き』、卒業に関するスケジュールは3月下旬発行の『試験・スクーリング情報ブック2020』でご確認ください。

3 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連 問い合わせ先 uj@tfu-maill.tfu.ac.jp

1 発送物のご案内

発送物	対象者	発送(予定)日
「実習先」内諾通知	実習申込が受理された方	施設より「内諾回答書」が届いてから発送
実習申込受理通知ほか ※詳細は『With』139号 p. 64参照	判定日1/31で申込受理 or 不受理の方	2/14
「09～」演習A」「～08」演習I」 スクーリング結果通知	1月(仙台)受講者	2/26

● 2 「'09～ 演習B」「～'08 演習II」 申込みについて

開 講 日 (仙台：仙台駅東口キャンパス) 5/16・17or 5/30・31

(新潟：新潟医療福祉カレッジ 2号館) 6/27・28

申込方法 申込用紙(本冊子巻末)の提出

申込締切 3/15必着(受講判定日3/15・4/15)

受講条件 『レポート課題集A 2019』p.173参照

スクーリング受講上の注意点 社会福祉援助技術の関連知識について、復習を十分行ってからの受講を推奨します(スクーリング試験がソーシャルワーク実践に関する基本的な知識の確認テスト(○×式や用語等の記述)のため)。

申込上の留意点 仙台での受講希望者は、どちらの日程でも受講できるよう、日程調整をお願いいたします。

本年9月に実習申込を行う予定の方は、次回9/15締切の申込でも間に合います(開講予定日：本冊子p.48参照)。

● 3 2019年度の実習申込が受理された方へ

● 送付物について

- ・『With』139号p.64をご参照ください。
- ・実習希望先から通信教育部に、「内諾回答書」(実習を受入れるという文書)が届いた方には、「内諾回答書」のコピーを送付しています。コピーの到着後は、『社会福祉援助技術実習の手引き【第1分冊】』(2019年度版)p.27をよくご確認ください。

● 「'09～ 実習指導B」「'09～ 演習C」(～'08 実習指導) スクーリング申込について

- ・申込用紙は「実習指導A」スクーリング時に配付します。

4 「演習C」(分割型) スクーリング申込みについて (実習免除者・科目等履修生での実習希望者用)

開講日 申込用紙(本冊子巻末)参照

※分割型スクーリングの仙台会場の開講はありません。

申込方法 申込用紙(本冊子巻末)の提出

申込締切 4/1 必着

受講条件 『レポート課題集A 2019』p.181参照

4 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験受験希望の方へ【重要】

「国家試験」の受験状況をお知らせください

【対象】社会福祉士・精神保健福祉士養成課程を終え、3月末に卒業(修了)する方(国家試験受験者・未受験者いずれも)。

【提出物】「国家試験受験番号連絡票・国家試験証明書申請用紙」

※本冊子巻末(『学習の手引き』巻末様式5 or 『社会福祉援助技術実習の手引き【第1分冊】』巻末様式15でも可)

【提出期間】2/3～2/29(早めのご提出にご協力ください)

※上記の手続きによって、大学から「社会福祉試験・振興センター」へ、下記証明書を発送します(3/19(卒業日)以降。手数料無料)。

・「指定科目履修証明書(卒業証明書を含む・国家試験受験用)」

※国家試験合格者に対し、「社会福祉試験・振興センター」より上記証明書を提出するよう通知がありますが、本手続きにより完了いたします。

※国家試験に合格しても3月末までに卒業しない場合は、合格が取り消されますのでご注意ください。



修得単位の管理について【再掲】

国家試験受験資格および卒業要件を満たせる状況かを再度ご確認ください（スクーリング受講、科目修了試験受験、レポート提出に漏れがないか。特に再提出になっているレポートや、不合格になったスクーリングや科目修了試験はないか）。

※指定科目（『学習の手引き』参照）を含む修得単位については、ご自身での管理が必要です。

※ご自身で確認したうえで、ご不明な点は実習係にお問い合わせください。

5 精神保健福祉士 取得希望の方へ

〔～11〕：旧カリキュラム（2011年度以前入学者）

〔'12～〕：新カリキュラム（2012年度以降入学者）

精神保健福祉士 問い合わせ先 psw@tfu-maill.tfu.ac.jp

●発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送（予定）日
〔'12～〕精保演習 A」スクーリング成績通知	12/14・15受講者	12/23・27
〔'12～〕精保演習 B - 2 + 実習指導 A - 2」スクーリング成績通知	1/25・26受講者	2/26

「'12～」精保演習C-2+実習指導B-2」スクーリング成績通知	2/8・9受講者	2/26
「'12～」精保演習C-1+実習指導B-1」スクーリング受講通知+実習B関連書類	2020年度「精保実習B」受講予定者	3/6
「'12～」精保演習C（実習免除者用）」スクーリング受講通知+『精保実習B課題ノート』	6/6・7 受講予定者	3/6
2020年度「精保実習B」内諾回答書（写し）・実習日程カレンダー	「実習B」申込が 受理された方	実習先より「内諾回答書」が届き次第、 随時

1 次回「'11」精保演習」スクーリングの申込みについて

開講日：6/20・21 or 6/27・28 会場：仙台駅東口キャンパス

申込方法：申込用紙（本冊子巻末）の提出

申込締切：3/15必着

受講判定日：4/15

受講条件：『レポート課題集A2019』p.313参照

※受講判定後に結果通知・納入依頼書を発送します（4/30までに届かない場合はご連絡ください）。

2 次回「'12～」精保演習A」スクーリングの申込みについて

6月開講分について、次号『With』142号でご案内します。

3 次年度(2020年度)「'12~ 精保実習A」を受講希望の方へ

前号『With』140号 p. 54をご確認ください。

4 次年度(2020年度)「'12~ 精保実習B」(7/1~12/25)を受講希望の方へ(11/30締切済)

1) 「'12~ 精保実習B」受講条件について

達成期限3/31の【条件4】「精神保健福祉援助実習B」受講条件Ⅱ(『学習の手引き』参照)をご確認ください。

※科目修了試験で単位修得予定の方は、2/29 or 3/1に受験できるよう、2/12締切(必着)で申込み、レポート提出を行ってください。

2) 「'12~ 精神保健福祉援助演習C-1+実習指導B-1」(精保実習B事前指導)スクーリングの申込みについて

2/29までに本冊子巻末の申込用紙をご提出ください。

5 「'12~ 精保演習C(実習免除者用)」スクーリングの申込みについて

対象学年：4年次

開講日：6/6・7 会場：仙台駅東口キャンパス

申込方法：申込用紙(本冊子巻末)の提出

申込締切：2/29必着 受講判定日：4/30

受講条件：【条件8】(『学習の手引き』参照)

※科目修了試験で単位修得予定の方は、2/29 or 3/1に受験できるよう、2/12締切(必着)で申込み、レポート提出を行ってください。

※2020年度で卒業するためには、本申込での受講が必須です(申込、条件達成、スクーリング受講のための日程調整等はお早めに)。

6 幼保特例講座受講の方へ

●4月生の方へ

- ・今年度最終の科目修了試験は、2/29・3/1です（申込締切2/12：本冊子3部参照）。
- ・保育士資格取得希望で「乳児保育」のスクーリングに合格している方は、2月末までにレポート提出、またはWebレポートに合格してください。
- ・「TFUオンデマンド」でのWebレポートの配信は、レポート提出期限である2月末に一旦停止します。
- ・『With』140号 p. 55～56もご確認ください。

●10月生の方へ

(1) 追加履修登録について

まだ履修登録をしていない科目がある方で、追加履修登録を希望する方は、本冊子 p. 39～40をご参照ください（手数料なし）。なお、追加履修登録は6月にも可能（手数料あり）です。

※いずれも9/10までに学習を終える必要があります。

(2) 「相談支援」の教科書・レポート課題の有効期限について

前号『With』140号 p. 55にて、2014～2016・2018年度履修登録の10月生について、2020年10月以降も継続する場合に教科書とレポート課題が変更になる旨ご案内いたしました。2020年4月より担当教員が変更になる関係上、2020年4月に教科書とレポート課題を変更させていただきます。ご了承ください。

●幼稚園教諭免許状取得希望の方へ

2020年4月より、「教育社会学（特例）」について、担当教員が似内寛先生のみとなります。

●保育士資格取得希望の方へ

2020年4月より、「子ども家庭支援論（2019年度以降入学者）」「相談支援（2018年度以前入学者）」について、担当教員が松本祥子先生へ変更となります。

●すべての単位修得が終わった方へ

下記①～④を大学へお送りください。なお、②～④は証明書が必要な時期のご提出でかまいません。

- ①「学生証返納・修了届」（『学習の手引き』巻末様式15 or 19）
- ②「各種証明書申込書」（『学習の手引き』巻末様式8）
- ③定額小為替（上記②の証明書発行手数料分）
- ④返信用封筒（84円切手貼付・住所氏名記入）

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会調査の基礎（社会福祉援助技術論Ⅱ） 熊本 博之

- ・時間内にサクサク進むので、快適に授業を受けることができました。
- ・今まで自身が仕事で行っていた実態調査やアンケートの意義を深く掘り下げることができた講義でした。ぼんやりと理解していたことがはっきりと言語化されて頭がすっきりとした感覚です。特に他者の合理性、深く納得です。

●社会福祉援助技術演習B 関川 伸哉ほか

- ・ソーシャルワークの基礎について一通り見直すことができ、理解が深まりました。
- ・講義を受けてみて社会福祉士の資格取得について、改めて考えさせられました。専門用語を覚えることに必死で、その中身の理解ができていなかったことに気付かせていただいたことで、今後の学びの参考にもなったし、何をすべきか見えてきました。
- ・先生自身が私たちの間違いを否定せずに、うまく進行してくださったので、わからないことを恐れずに発信できた。そのことによって「どこをわかっていなくてはいけないのか」がわかり、勉強意欲が更に増した。
- ・適切にグループワークが盛り込まれていて、飽きることなく受講できました。グループワークを通すと自身と違う考え方や気付きができていつも勉強になるなあと思います。また自身の学習不足を痛感します。

●障害者福祉論 関川 伸哉

- ・学生に考える時間をたくさん設けてくれたので、頭に残りやすいし、言葉の説明もわかりやすかった。事例があると想像して考えやすく、将来に活かしやすくなる感じた。
- ・参加型授業ということで、ただ講義を聞き板書するのではなく、学ぶ、聞く（質問や他者の意見など）、答えることから積極的にスクーリングに取り組むことができた。

●老年心理学（老年心理学A・B） 吉川 悠貴

- ・認知症の症状の内容、本人の根拠となる思い、事例などとてもわかりやすい講義でした。もっと学びを深めてレポートに臨みたいです。
- ・老年心理学はこれからの日本人が最も学ばなければならない学問であると同時に、これから高齢者とどう付き合うかというメッセージだと思う。
- ・ほかの認知症のセミナーを受けたことがありますが、きれいな事のように感じてしまい、実際の現場との違いにモヤモヤしていました。今回の講義ではとても内容が深く、認知症のことと自分の気持ちと、両方の整理をつけることができました。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●医学一般・人体の構造と及び疾病 井手 貴治

- ・人が生活していくなかで、とても身近な分野でありながら、専門用語が多く範囲も広いことから理解が難しいと思い込んでいたが、「真剣に学べば必ずわかるようになる」という先生のことばが励みになった。
- ・先生の説明がポイントを押さえていたのでよかったです。医療分野にも関心もてるようになりました。仕事でも使えるようにしたい。

●心理学実験Ⅰ 佐藤 俊人

- ・集中して受講でき、難しい内容も先生のトークでわかりやすく楽しく学べました。他の学生とも知り合えてよかったと思います。
- ・ハードなスクーリングで、受講するか迷う日程でしたが、自分の身のまわりでも起こり得るような実験で、楽しく受講することができました。

●心理学研究法B 吉田 綾乃

- ・研究論文に書かれている統計用語が、当初は理解できなかったが、このスクーリングでどのように分析して割り出されたものなのかが、よくわかった。
- ・研究論文について、さまざまなことを教えていただきとてもおもしろかった。

●児童青年心理学 半澤 利一

- ・思春期に自己像が確立し困難を乗り越える力は、母親やそれに代わる信頼できる大人の愛着関係があったかどうかが大いに関心をはかれた。

●特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学) 菊住 彰

- ・普段からストレスに悩んでいましたが、自身の考え方のくせを見つけること、それを変えていくことも必要であることを知り、勇気もてました。
- ・グループワークが多く実際にコミュニケーションをとれたのが良かった。授業がわかりやすく、飽きることがなかった。

●障害者・障害児の心理学 大関 信隆

- ・どの障害に対しても早期に適切な支援をしていくことによって、改善されたり、二次障害を生じさせなくしたりすることがわかった。
- ・同じ視覚障害でも、全く見えない人、ルーペで読書が可能な人、見え方が斑な人、とさまざまであることを知った。聴覚は聞きとりだけでなく、意味的理解部分も関係していることも知った。中途失明など突然視覚を失った人たちに対する心的支援も含めて、もっと深く学習したいと思った。

スクーリング・アンケートより(5)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●精神保健学 近田 真美子

- ・どのようなケアが適切かをグループワークで話し合ったことが印象に残った。
- ・同じ症状に対してもさまざまなケアの仕方があり、使い分けていくことが大切だと思った。

●精神保健福祉の制度（精神保健福祉論Ⅲ） 菅原 好秀

- ・障害者と一般の人とが幼い頃から、交ざり合い、認め合い、助け合って楽しく暮らしていける世の中になってほしいと、このスクーリングを受講してさらにそう思いました。
- ・板書の文字が見やすく、重要な用語を繰り返し強調して、記憶できるよう促す講義スタイルは国家試験等に有用だと感じました。

●精神障害者の生活支援システム 大橋 雅啓

- ・先生の経験談がふんだんに盛り込まれていたもので、現場（実際）のイメージが伝わってきて良かった。
- ・先生の豊富な経験によるお話、国内だけでなく国外のようす、状況が大変興味深かったです。

●精神保健福祉援助演習A 三品 竜浩

- ・ジェンダーやセクシャルマイノリティ、依存症への言及が多く、とても共感できる点が多かったです
- ・対話することは、自分を知る手段であること、相手が感じたことを言葉にして伝え返してくれることで、気付いてなかった自分の幸福のキーワードを知ることができ、専門職としての対人援助に何が大切なのか知ることができた。
- ・さまざまな方と交流をもち、演習を行うことができ、学んだことが多かったスクーリングだった。役になりきり、ワーカー、クライアントとして演習できたのが楽しかったです。

●精神保健福祉援助演習C-2+実習指導B-2 小野 芳秀

- ・グループワークを通して、実習で個別の体験から得た、皆さんの知見を共有させていただき、自分の実習体験に肉づけされて、考えや思い知識が深まり、良いPSWになりたいと改めて思った。
- ・実習を通して悩んだり苦労したりしたことをグループメンバーと打ち明けることで、ひとりで頑張っているのではないという安心感にもつながった。
- ・PSWとしての自己洞察、自己覚知を常に怠ることなく行っていきたい。

スクーリング・アンケートより(6)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●NPO論 金 政信

- ・今までわからなかったNPOについての知識を得ることができ関心がもてました。スクーリングに参加してよかった。
- ・NPOの成り立ちや制度上の話だけでなく、NPOを立ち上げる際の思いや目的のところまで掘り下げ、動画でも深く学ぶことができました。

●社会福祉学入門 三浦 剛

- ・社会福祉学の基礎から学ぶことができました。
- ・社会福祉の枠組みや、どのように行われてきたのか理解ができ、知識が植え付けられたように思います。

●社会福祉援助技術論A・B 川口 正義

- ・先生の社会福祉に対する熱い思いがとても感じられ、自分自身の考えを振り返り、もう一度福祉について真剣に考えようと思えました。
- ・先生の体験談から学ぶことが多く、ソーシャルワーカーとソーシャルワークの違いや、その問題への焦点のあて方のあたたかさに、更に深く学んできました。

●社会調査の基礎(社会福祉援助技術論II) VTR 三浦 剛

- ・社会福祉実践における調査の意義、目的が明確に示されその手法として調査に至るまでのプロセスや手法など、とてもわかりやすいと感じました。
- ・社会調査を通して、個人の問題を地域社会にとりこませ、法改正にまでつながることなど、社会福祉と社会調査は切り離せないものだということがわかりました。

●社会福祉援助技術実習指導B-3+演習C-2 山川 敏久ほか

- ・他の人が、どのような実習を行い、何を学んできたのか知ることができて、自分の課題もたくさん見つかった。
- ・実習の振り返りをするにより、改めて「自分の思い込みの強さ」を自己覚知することができた。

●社会福祉援助技術演習C(実習免除者用) 高橋 誠一ほか

- ・支援を考えるときに「ないもの」に目が行きがちだが、今ある資源を広げていく視点も大切であることを学んだ。
- ・さまざまな専門分野の人たちとの演習を通じ、自分とは違った視点や解決策などを得られ、良い刺激となりました。

スクーリング・アンケートより(7)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●介護概論 後藤 美恵子

- ・先生がこれまで現場や研修先で体験したことをご自身の考えもふまえて話されていて、私自身の介護に対する姿勢や態度を深く考えることができました。
- ・介護に対する考え方や見方が変わりました。資料の中身・内容も見やすく納得できました。

●社会・集団・家族心理学B(家族心理学) 平泉 拓

- ・具体的な例を交えて説明していただいたので、とてもわかりやすかった。
- ・実際にクライアントやセラピストになって演習することで、今まで面談して相談を受けたときの良かった点、反省点が見えてきました。

●臨床心理学概論Ⅰ 横山 知行・小山 智子

- ・アタッチメント形成不全と発達障害の関連について知ることができました。
- ・臨床心理学の概要や児童・思春期の心理臨床について、動画で事例を観ることができ、理解が深まりました。

●健康・医療心理学 中村 修

- ・ストレスとコーピングの話がとても印象に残った。状況に応じてコーピングを使い分けることでより効果的だという点がおもしろかった。
- ・出来事そのものには意味はなく、意味付けを行うことによってストレスになることが印象に残った。

●カウンセリングⅠ 渡部 純夫

- ・傾聴、受容、共感セットのように覚えていたが、それぞれに意味や効果があり、適切に使われなければならないということを理解しました。

●産業・組織心理学 山口 奈緒美

- ・専門用語(キーワード)を噛み砕いたことばを添えて説明して下さったので、非常にわかりやすかったです。
- ・具体例を示されながら理論について講義して下さったので、理解しやすく、産業心理を身近に感じ、さらに興味も増えました。

●教育・学校心理学A(教育心理学) 白井 秀明

- ・教科書を読んでも理解できない部分が多くとても不安だったが、講義を聞いたととてもわかりやすく興味をもってきくことができました。
- ・障害のある子どもでも支援の仕方によって、その子がかつ無限の可能性を引き出すことができるということが深く心に残りました。